

河西 哲子（助手）：視覚
 心理学、認知神経（脳）科 学
 ◇発達心理学・児童発達ダ
 ループ
 佐藤 公治（教授）：発達
 心理学・教育心理学
 石黒 広昭（助教授）：発
 達心理学、言語心理学、學
 習の心理学
 伊藤 崇（助手）：発達
 心理学・教育心理学
 ◇乳幼児発達論グルーピ
 陳 省仁（教授）：乳幼
 児発達心理学、子育て人類
 學
 藤野 友紀（助手）：発達
 心理学
 ◇教育臨床心理学グルーピ
 間宮 正幸（助教授）：教
 育臨床心理学、教育相談、
 臨床心理学の歴史
 葛西 康子（助手）：地域・
 精神科リハビリテーション
 メンタルヘルスケア、地
 域・臨床心理学
 ◇身体運動科学グルーピ
 山田 憲政（助教授）：バ
 イオメカニクス、運動制御
 保延 光一（助教授）：バ
 イオメカニクス
 矢野 徳郎（助教授）：運
 動生理学
 ◇体育方法グルーピ
 進藤省次郎（助教授）：体

鈴木 敏夫 (教授) : 体育 学、体育史	大櫃 敬史 (助教授) : 体 育史学	大沼 義彦 (助教授) : ス ポーツ社会学、スポーツ中 心	◇体力科学グループ	◇育科教育学、体育方法学 学
須田 力 (教授) : 体力 学、高齢者の運動	石井好一郎 (助教授) : 体 力科学 (健康科学、スポー ツ科学)	石井好一郎 (助教授) : 体 力科学 (健康科学、スポー ツ科学)	須田 力 (教授) : 体力 学、高齢者の運動	須田 力 (教授) : 体力 学、高齢者の運動
森谷 繫 (教授) : 健康 科学教育、適応生理学	河口 明人 (教授) : 動脈 硬化症・予防病態学・臨床 試験・ヘルスケアネット ワーク	河口 明人 (教授) : 動脈 硬化症・予防病態学・臨床 試験・ヘルスケアネット ワーク	森谷 繫 (教授) : 健康 科学教育、適応生理学	森谷 繫 (教授) : 健康 科学教育、適応生理学
四月にはいよいよ「国立大 学法人北海道大学」となり ます。そうなれば、学部に とつて同窓会は大学後援組 織として頼りになる存在と なるものと思われます。と ころが、学部教員三八人の うち学部出身者は一五人で す。学部と同窓会のかかわ りを強化しようとするれば、 これは大きな壁であります。	これは大きな壁であります。	これは大きな壁であります。	これは大きな壁であります。	これは大きな壁であります。

教授
佐藤公治



緒に朝食を取り、いつもの日常と変らない生活をしていました。多少、血圧が高かったのですが、通院する程のものでもなく、近年はいたって健康そのものでしたので、ご家族はもとより、私たち職場の同僚もしばらくは彼が亡くなったことを実感として受け止めることはできませんでした。亡くなつた当日は札幌はみぞれ混じりの雨が強く降つた寒い一日でした。葬儀の日も彼の死を悲しむかのように雪が舞つっていました。葬儀には同窓会員の方が多数参列いただきました。ありがとうございました。この紙面をお借りして改めてお礼を申し上げます。

れた研究を残しています。しばらくは文部行政史、教育行政史研究を中心にして研究を進めていましたが、彼のライフワークとも言えるこれらの研究に加えて、最近の十年間は積極的に今日の学校の現実の問題にも研究の射程を広げるようになります。多く出すようになります。その一つの大きな成果が「学校という〈制度〉」(窓社、一九九九年)です。教育制度・教育行政の研究者として、いつたい「教育制度」なるものが学校に関わりを持つてゐる児童・生徒教員、そして家族にとつてどのような貢献をし得るものになつてゐるのか、いつたい「制度」なるものは何であるのか、何であらねばならないのかを自ら問い合わせたといえるかもしれません。結局、彼が行き着いたのは、「制度」そのものを相対化し、改変の対象とする「制度論」的発想です。

共に今日でもその思想が受け継がれているものであります。西本さんは学校現場を含めて、人との関係性を支えていくことができるような「制度」をどう創り上げていくことができるのか、そのことこそが教育行政。教育制度の研究者に与えられた課題だと位置づけていたと言えるでしょう。そこでは、安易な現状追認の学校現場の表面を触つただけの調査研究の類は断じて許されなかつたのではないでしょうか。学位論文「制度学校とスクーリング秩序の近代」を京都大学に提出し、予備審査も終わり、最後の口頭試問を二月後に控えていた矢先の突然の他界でした。

「言葉遊び」のままでもいいのがな。



54年卒 社会教育

国語の現情を乱れと見て、心配する声がある。私もその一人である。

国でもこの傾向を等閑にすることが出来ず、アンケート調査をしたり、外来語の言い換え例を示したり、目に見える対策を立てつつあるようだ。

私なりに、国語が変化ではなく乱れであると見る理由として、次の四点を挙げることが出来る。

(1) 大きな理由の一つに、同じ言葉の意義が、世代によつて異なることが挙げられる。

文化庁の国語世論調査(2002年)の結果が六月二〇日の道新朝刊に発表されていた。一六歳以上の男女三〇〇〇人を対象に調査し、約二二〇〇人から回答を得たものだそうだ。

そのうち誤解されるいふる慣用句の幾つかの例を見てみよう。

流れに掉さす・正役不足・確信犯

誤 不明 正 不明 正 不明

誤 64% 不明 21% 28% 5%

誤 63% 不明 16% 19% 16%

誤 58% 不明 24% 24% 7%

誤 27% 不明 44% 45% 45%

誤 40% 不明 7% 7% 7%

六〇%以上の人人が誤解しているものもある。

その他諺などでも、世代によつて意味が全く逆転しているものがある。

例えば「情けは人の為ならず」を、「情けをかける」と、その人の為にならない。だから情けはかけない方がいい」とする人がいる。

(2) その他若い人が言う

「タメ語」(これも意味のわからぬ言葉だ)と言ふ得体の知れない言葉が流行ついている。しかも乱暴、下品な言語表現である。言葉遊びの世界かもしれないが、本来の言葉

と、言葉遊びの区別が付けるようだ。

外国语に対しても日本人全部が同じレベルの理解度ではないのだから、人によつて通じたり、通じなかつたりする。

(4) 意味の取り違えに至らなくとも、発音上鼻濁音の出ない人がいたり、アクセントがだんだん無くなつて、平板化する人が多くなっている。

これらの現象を見聞きすると、国語は変化ではなく乱れているのだと言いたくなる。

こうした母国語の状態をそのままには出来ないと私は思う。

ではどうするか、その答えは自づと見えてくる。

誤解されている言葉は、正しい意義を普及させる。

また誤解をさせぬよう指導する。

意味不明の日本語、品の無い日本語、乱暴な日本語が増えるのを抑制する。

外国语の乱用を避ける。

母国語であろうとも、発音、アクセントも、指導する。

言葉は元来先人達から受け継がれてきたものだ。その言葉が現代ではしっかりと受け継がれていない。例えば札幌市では、毎晩家族全員が揃つて夕食をとる家族が五%しかないと言う数

字があるが、家庭の言語教育力、伝達力の低下も大きな原因であろう。更に前述のように意味不明の新造語が増えており、加えて日本人が理解しにくい外国语の氾濫がある。

又、教育を研究対象にする、大学の教育学部、各教育研究機関こそ積極的にこの問題に取り組み、どうすべきかの指針を示すべきだと思う。

こうした母国語の状態をそのままには出来ないと私は思う。

ではどうするか、その答えは自づと見えてくる。

誤解されている言葉は、正しい意義を普及させる。

また誤解をさせぬよう指導する。

意味不明の日本語、品の無い日本語、乱暴な日本語が増えるのを抑制する。

外国语の乱用を避ける。

母国語であろうとも、発音、アクセントも、指導する。

政府に任せらず、先ず教育界から、日本語の現場を解明し、認識し、是正していくことが望まれる。

（恩師）のありがたさを思っています。

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

のか。日本語の変化、亂れを是正することが出来ずに来た大人には、残念ながら期待できないけれど、それでも尚、言葉を伝える側にいる大人でなければその任に当れないものである。

そこで私は、特に次代の国民を育てることを職業とする教員の人達に、日本語の正常化に努めて欲しいと考へる。

国民を育てることを職業とする教員の人達に、日本語の正常化に努めて欲しいと考へる。

（恩師）のありがたさを思っています。

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（恩師）をカッコ書きにしたのは、他でもない。「恩」という言葉に対する歴史的・社会的な厭惡感があるからです。

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（恩師）をカッコ書きにしたのは、他でもない。「恩」という言葉に対する歴史的・社会的な厭惡感があるからです。

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

望まれているのだと思う。（前NHKアナウンサー）道新に「こ」とば徒然草」執筆中

（恩師）のありがたさ――☆――☆――



58年卒 教育史 加藤多一

卒業してから四十五年、年齢も七〇歳に近くなつてきましたが、最近しきりに（恩師）のありがたさを思っています。

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

（私は自身も、まわりの人々にどんな影響を及ぼしてきたか。当然悪い部分が多いが、良い部分も少しはあるたと思いたいのがホンネ）

平成15年10月1日
会志癡學大遠海北生方のせいです。喜びと誇りを持つていうのですが、責任をとつてもらいたい
者あるいは超権力者が押し売りのその売り子が甘い汁を吸うものでしたが、私も十一歳まではその恩のシステム内で呼吸してきました。卒業式に歌わされていました。歌は、現在はもちろん子どもたちのころでも（仰げば尊どしあが師の恩、というのとはちょっと違うなあ）を感じていました。食糧に目の色を変える老校長やすぐ子どもを殴る教師だったから――。
「なつかしく感謝したいと思う先生」のことを端的に現す日本語がないのですね。「恩」は時代錯誤そのもので、教師の背後に國家権力とテンノウ制を感じるので。私自身、教え子やわが子に恩をウンヌンされるのは、まつぶらで、筋違ひだと思っています。いろいろな蓄積に差はあるけど、人間として対等な場合に「恩」というのはイヤラシイ。

——くらいの気持ちです。
それは一口に言って「國家権力が学校教育を支配してはいけない」「教育は国家のためのものでなく国民のものだ」というメッセージで、底に流れているかのように思えます。

れた石田先生。家庭学校の実践をもつ留岡先生。温顔の奥田先生。

四
一

「配線」をかつ
ぐれた先生や先
生たちを払つて
いる

記録することと表現することとそれを公表することに喜びを感じる人々が増えてきた。また一方には、自費出版を新しいビジネスと捉える出版社側の目論見もある。流れ半纏着てみたい……と

氣分は概して鬱々みだつたが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このようないくつかの状況のもとで日本語で日本へ戻る時に日本へ

の歌は現在はもうそん子どものころでも（仰げば尊としわが師の恩、というのとはちょっと違うなあ）と感じていました。食糧に目を向けることを交差しながら

の色を変える老校長や、すぐ
子どもを殴る教師だったか
ら。

— なつかしく感謝したい

ね。「恩」は時代錯誤そのもので、教師の背後に國家権力とテンノウ制を感じる

のです。私自身、教え子やわが子に恩をウンウンされるのは、まっぴらで、筋違

いだと思って います。いろ
いろな蓄積に 差はあるけど、
人間として 対等な場合こ

「恩」というのはイヤラシイ。

このへんの私になつてしまつたのは、どう考へても北大教育学部のなつかしい先生方のせいです。喜びと誇りを持つていうのですが、責任をとつてもらいたい

——くらゐの気持ちです。それは一口に言って「國家権力が学校教育を支配してはいけない」、「教育は国家のためのものでなく国民のものだ」というメッセージが底に流れているかのとうな諸先生の講義の中から、（むしろ卒業してから、いや五十歳をすぎてからはつきりと）私が勝手に作り上げたものかもしません。

しかし、教員養成でなく科学としての教育学の研究と教育の場をこの北海道に創設するのだという志は、当時相當に高く固いものだつたと思われます。

別の言葉でいえば、神話と國家の恣意から「正しい歴史」を取り返す意志、といつてもいいでしょう。講義の内容はもちろん頭に残つていませんが、思いと情熱だけは感じましたと熱弁をふるう先生の声を開きながら居眠りする快感は今も体に残っています。

四国弁の巻き舌の城戸先生の「けれどもが——」の連発。エスプリと皮肉の餘熱が顔に出て色黒の砂沢先生。自宅でごちそうしてく

れた石田先生。家庭学校の実践をもつ留岡先生。温顔の奥田先生。

現在九十歳になんなんとする木村謙二先生には、今もなお影響をうけ続けています。

当時助教授で「特殊教育論」の講義を受けたのですが、弱い立場にあるものへの共感や国家権力の本質を見ぬく（かのような）精神は、怠け者の私でも肌で感じて吸収していたようです。

最近、教育現場への介入

ンな人間の「配線」をかつて手伝ってくれた先生や先輩や後輩がなつかしくて「同窓会費」を払っている私です。

記録することと表現することとを公表することに喜びを感じる人々が増えてきた。また一方には、自費出版を新しいビジネスと捉える出版社側の目論見もある。通り半纏着てみたい……ということになるが、私もこの十年ほどの間に「一冊の本をつくりた」「いつか本を出してみたい」と思つていたらつしやる方の参考になれぱと、私の経験を記す。

私の一冊目は、いわゆる外国滞在記である。

九十三年から九十五年の約二年間、私は仕事でロシア連邦共和国サハリン州（旧日本領「樺太」）の州都ユジノサハリンスクに滞在した。私にとつて初めて初めて

氣分は概して鬱々みだつたが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このような状況のもとで日本語で日本人人の読み手を念頭に自由なエッセイを書くという作業は、私にとって一種のカタルシスだったのだろう。

氣分は概して書きみだつなが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このようなな状況のもとで日本語で日本人人の読み手を念頭に自由なエッセイを書くという作業は、私にとって一種のカタルシスだつたのだろう。

氣分は概して鬱々みだつたが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このようないくつかの状況のもとで日本語で日本人人の読み手を念頭に自由なエッセイを書くという作業は、私にとって一種のカタルシスだったのだろう。

帰国してから原稿を札幌市内の出版社に持ち込み、編集作業に入った。原稿量が多すぎて全体の約三分の一をカットし、三百ページにおさめた。タイトルは『ユジノサハリンスク日記』とし、五百部を二年ほどかけて関係者、希望者に配布した。我田引水で恐縮だが概ね好評であり、今では保存用の部数を残すだけである。

二冊目は、いわゆる一旗史ものである。

小さい頃、父母の口から龜井姓を名乗る私の一族は屯田兵の末裔であり福井県勝山市の出身であると聞いて

気分は概して鬱々みだつたが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このようないくつかの状況のもとで日本語で日本人の読み手を念頭に自由なエッセイを書くという作業は、私にとって一種のカタルシスだったのだろう。

氣分は概して鬱々みだつたが、アパートの部屋で机に座り、ワープロを前に原稿を書いている間だけはある種の救いを感じた。振り返つてみると、このようないくつかの状況のもとで日本語で日本人の読み手を念頭に自由なエッセイを書くという作業は、私にとって一種のカタルシスだつたのだろう。

帰国してから原稿を札幌市内の出版社に持ち込み、編集作業に入った。原稿量が多すぎて全体の約三分の一をカットし、三百ページにおさめた。タイトルは『ユジノサハリンスク日記』とし、五百部を二年ほどかけて関係者、希望者に配布した。我田引水で恐縮だが趣向ね好評であり、今では保存用の部数を残すだけである。

二冊目は、いわゆる一巻史ものである。

小さい頃、父母の口から龜井姓を名乗る私の一族は屯田兵の末裔であり福井県勝山市の出身であると聞いてから、漠然と様々な疑問を抱いていた。曰く、なぜわざわざ北海道まで来たのか？それ以前は何をしていったのか？

「本をつくる」の體

これらの動きは現在身をもつて反対行動をしておられる木村先生こそ、私の尊敬する現存する先生です。尊敬・親しみ・感謝・なつかしさ——これだけそつゝつているのに「恩師」と呼ぶたくない私。こういう

自費出版（個人出版とも
いう）ブームなのだという
高学歴化、高齢化が進み、
亀井俊介

が誤せられたサハリン滞在は、あたかも独房蟄居を強いたされた囚人生活のような趣ぎだった。滞在期間中、

わざわざ北海道まで来たのか？それ以前は何をしていたのか？

どる作業には以前から関心があった。サラリーマン生活に入つてから断続的に血のつながりがある関係者に取材し、幾本かのインタビューテープを保管していた。

ところがその後、日々の生活にかまけてこの作業は長期にわたって中断した。そしてある日、お話を聞いた方々のうちの一人が老齢で亡くなつたことを知った。

とにかく今、記録して本にしなければならない!さもないと私の集めた記録と証言は忘れ去られる——ということが明確になつた。そこではじめて「本にまとめよう」と思った。手持ちの資料を整理し、町村史等で史実確認する作業に半年程度かけた。

二冊目の本は経費を節約して地味な体裁とした。ただし高齢者や小学生でも読みやすいように、字体は大きめにした。タイトルは考えた末に『北の系譜』とし、この種のテーマは読み手が限られる以上、印刷は二百部とした。事前の予想どおり、出版後五年以上を経てようやく概ね消化したところである。

さて、以下は思いつくままの自費出版に関する教訓である。

まの自費出版に関する教訓である。

① (基本) あるテーマに関する心があつたら、資料の収集や発掘を続けること。

出発点は小さなシーザーも、関心を継続するとそれがなりの成果を得る。本づくりはその集大成である。

② (書くツール) 私はワープロを使つたが、今なら

当然パソコンを使うべきである。なんと言つても便利である。

③ (本) 少々無理をしてでも体裁にこだわり、じつくり時間をかけてつくるべきである。

これらの経験を通じて思

うに、眞面目に読んでいただいた方の感想やご意見を聞くのが一番楽しい。

できればその都度新しいテーマに基づいて、三冊目といわば四冊でも五冊でも出したいと思っている私である。

(道職員)



四〇四号室と その周辺(一)(二)

あとがき
'60年卒

'66年卒 教育史

逸見勝亮

◇みんなさんは御変わりありませんか?僕は学部長二年目となりました。

重慶障害児施設・もみみ学園を振り出しに道が口

ノサハリンスク事務所の初代所長(平成五~七年)。

また、いわば国家プロジエクトともいえる苦東開発が民営化をめざし再スタートした。(株)苦東の総務企画部長(平成十一~十四年)、

△因に、当時の初代社長は現副知事の吉澤慶信・北大卒であった。

わが学部出身の道職員と

しては、広域人事で幅広い分野を経験した異色の人材であり、いま本道経済行政の中枢(経済部総務課参事)にあって、明日の北海道に向けて囁きされるけるひとりと云えよう。

――☆――☆――

ほどに持続すると時間と空間でかかるので、そうも

いきません。

最近、米一俵分(六〇キ

ログラム)を持ち上げること

ができるまいかと、重りを

持ち上げる器具に挑戦してみました。六五キログラム

の重りを両肩に担いで屈ん

だ状態から立つという動作を一〇回・三セット繰り返します。力を抜きながら意

識を一点に集中して、一気に持ち上げました。大腿後ろと臀部下にも筋肉があり

る!このスクワットにはふさわしいフォームが要り、

などで札幌を離れるとき以外は日曜日毎に走っています。ときどき昼休みに学内を走っています。水泳は一時休止です。「健康のため

に走るのか」「マラソン大会に出るのか」と質問されますが、僕の答えはいつも「年齢確認のため」です。

走り始めて一五分過ぎると確かに気分はよくなつてきました。汗をかく爽快感はますます、汗をかく爽快感は

何者にも変え難いのですが、ランニングは僕にとって年齢を確かめる最も有効な方法です。同じ距離を走るのに要する時間が年々長くなつていくのを自覚できるのです。月に六回走れる

以下は学生との立ち話です。

ほどに持続すると時間と空間でかかるので、そうも

いきません。

最近、米一俵分(六〇キ

ログラム)を持ち上げること

ができるまいかと、重りを

持ち上げる器具に挑戦してみました。六五キログラム

の重りを両肩に担いで屈ん

だ状態から立つという動作を一〇回・三セット繰り返します。力を抜きながら意

識を一点に集中して、一気に持ち上げました。大腿後ろと臀部下にも筋肉があり

る!このスクワットにはふさわしいフォームが要り、

などで札幌を離れるとき以外は日曜日毎に走っています。ときどき昼休みに学内を走っています。水泳は一時休止です。「健康のために走るのか」「マラソン大会に出るのか」と質問されますが、僕の答えはいつも「年齢確認のため」です。

走り始めて一五分過ぎると確かに気分はよくなつてきました。汗をかく爽快感はますます、汗をかく爽快感は

何者にも変え難いのですが、ランニングは僕にとって年齢を確かめる最も有効な方法です。同じ距離を走るのに要する時間が年々長くなつていくのを自覚できるのです。月に六回走れる

△例によつて、この一年間に四〇四室ならぬ学部長室とその周辺(デパート、薄野を含む)で出会つた同窓生の名前を記しておきます。

まず、島田麻美さん。「先

生、私と会つたのに名前を書いてくれなかつたでしょ」との指摘を受けたので、昨年号の補足です。佐々木美保さんと会つたのも記しました。

近藤功さん、秦さやかさん

が来てくれましたが、出張中で会えませんでした。

以下は敬称略。

柴田(桜田)麻里、柴田

一、木村(今)佳子、皆川

義隆、島田麻美、奥田尚、

湯浅雅之、稻見孝雄、横山

継雄、玉田典子、吉田(三

上) 基子、柿木由理子、新

井(岡田)直子、工藤(米

田) 典子、中野未知、菅原

誠、小川正人、荻原克男、

白取道博、近藤健一郎、川

島るい、岡野直美、村松ゆ

一盛真、成田雅博、堀内雅

子、小佐野整、矢橋佳之、

弘、岡村裕史、長野智子、前田輪音、清水

亜紀、高橋美和子、上田理

美、高橋亮、細川美香、塚

原睦子、赤間幸人。

青木仁子さんの姪にあたる青木久美子さんは、八月四日に開催したオーブンキンパンバスに来てくださいました。

◇拙論「自衛隊生徒の発足

一九五五年の少年兵」が

『日本の教育史学』第四五

集に掲載されました。研究

仲間に別刷を送るに際して添付した文章の一部を転載

しておきます。

僕の中に自衛隊生徒制度

を調べようという考えが頭

をもたらしたのは、勤務する

大学で「平和の学際的研究」

を担当してからです。少年

通信兵・少年飛行兵・少年

戦車兵など少年兵に言及し

た際に、自衛隊生徒に触れ

ずにはいられませんでした。

そこではごく概要を述べた

にすぎませんでしたが、教

育部の専門科目「近現代

教育史—戦後教育史私注」

一九五〇年四月に室蘭市

立天沢小学校に入学した一

年三組五八人のその後の消

息を通奏低音」と銘打つ

て行いました。「鐘の鳴る

丘」と浮浪児、尋ね人の時

間、「白い馬」、昭和天皇一

や本格的にとりあげました。

とりあげる覚悟は講義準備

過程で「自衛隊生徒の任用

に関する訓令」(一九五五年八月一五日)を知ったこと、日教組教育図書館で秋田県教組の資料を見出した

ことによって定まりました。

拙論はその講義がもとに

なっています。

僕は保安隊から自衛隊へ

の転換を知っていますが、

自衛隊生徒を知らずにいま

した。労働者住宅街の年か

さの少年たちのさまざまの

進路——中学校卒業後働く、

高等学校へ進み働く、室蘭

工業大学を出て教員や新聞

記者となる、道立教員養成

所を経て小学校教員となる

——を見聞きしながら、一

九五五年には僕は多少勉学

好きで運動嫌いな少年でした。この研究は、僕が知らずにいたことを確かめる過程として進行しました。

ちなみに、「近現代教育

史——戦後教育史私注」は

「一九五〇年四月に室蘭市

立天沢小学校に入学した一

年三組五八人のその後の消

息を通奏低音」と銘打つ

て行いました。この他に『写真・絵画集

成学童疎開』(日本図書

センター、二〇〇三年)

『ジョンソンと教育の歴史』

(橋本紀子と共編、川島書

店、二〇〇三年)を刊行し

ました。前者には「解説」、

後者には「戦没者寡婦教員

養成所の歴史」を書きまし

のか」と苦言をたまわりました。しかし、「出くわす

機会が増えた」のは事実な

のです。茶を煎れながら学

生と弁当を使う気分をここ

に記すのはもつたらないで

す。幼稚園児とは「ロメ・

ジュリ」を演っています。

——☆——☆——

五年目の夏休み前、再び

室木先生より、独逸で人を

募集しているがどうか、と

言お話をあった。

しかしこの話も、学園紛

争の為に立ち消えになり、

翌年春、卒業間近かになつて慌てて見つけた、横浜の

会社に就職した。

入つてはみたものの、デ

パートだった為に当然なが

ら女の子が多く、入社早々

フロアーマネジャーとかで、

一〇人位任されたが、独特

の雰囲気で嫌気がさし、三

ヶ月で退職した。所謂五月

病というやつである。

そのころドイツの話を思

い出し、問い合わせてみた

ところ、まだ社員を募集中

とのことであったので、早

速募集し面接を受けた。一

ヶ月間、愛知県豊橋市の本

社で研修を受け、一九七〇

年九月ドイツに渡る。

ベルギー行きを辞退し、

行きそびれた訳であるが、

がまつたく解らないところでは、何も出来ないので、

いう心配が先に立ち、今

思えばまことに意氣地が無

いことであつたが、お断り

してたこともあり、恐ら

く小学生が大学三年生のこ

と zwar、結局卒業後この

会社に入っていたのだろう

ルーベン大学に行つていた

としても、結局卒業後この

会社に入つてたのだろう

といふ気がしている。小生

は運命というものは信じな

いが、少し遠まわりはした

が、ドイツへは来るべくし

て来たのではないか、と

思っている。

——

ドイツ便り



（再び大学へ

——芸は身を助ぐ——

渡独後三年半たつたとこ

ろで、会社の業績が思わし

くなく、日本へ帰るか、ド

イツに残るかの選択を迫ら

れるうことになった。

三年半ドイツに住んでい

た割りにはドイツ語が殆ど

身につかなかつたので、少

し語学を勉強したいと思ひ、

もうしばらくドイツに残る

ことに決めた。

先ずは四ヶ月間語学学校

に通い、その後半年間のハ

ンブルグ大学聽講生を経て、

三〇歳近くになつてハンブ

ルグ大学で再び学生をやる

ことになつた。基礎となる

生活費の方は、語学学校当

時は港の港湾労働者として学生になつてからは、空手や日本語の先生としてアルバイトをして稼いだ。日本では特別奨学金として、幾らからもらつていたが、これらでは貰う当ても無く、また、まさかこの年になつて親に仕送りを頼む訳にもいかないので、当然のことながら、大学に通う傍ら自分が賄うほかなかつた。

が、大抵はお断りした。行くときは日本からお客様が来たときくらいであつたところでこの支配人、イタリア人であつたが、既に六ヶ国語をマスターし、日本語が七つ目立とのことで

葉も日本語も覚えるのに大差はないそうである。小生が教えていたイタリア人は、外国語を習うのが趣味でそれで七ヶ国語を覚えてしまったとの事。まことに羨ましい限りである。

ドイツという国

お更のことである。ということで、このサブタイトルに対する答えは、『分からぬ』、または、一口では表わせない、』と言うことになるが、しかしこれでは本で鼻をくくつたような答ふにならぬので、少々、小生の印象、この国に対して考ふてゐることを記してみたい

先づは、清掃女工の、塵芥ある、ハリココレタガラ、男整頓が家中、町並みを問えるように洗濯物を干す、などは論外であり、花の種類、色にまで注目をつけらる。

この点に関しては公共の場、個人の家の中を問わず相当徹底している。都会は勿論のこと、相当な田舎へ行つても、家の周りはきれいに片付けられ、花壇に花が植えられ、耕作地も収穫の前後を問わず、常に整然としている。近隣諸国、オランダ、ベルギー、フランスなどと比べてみると、この点は更に鮮明になる。他の国は先ず雑然としていた感じを受ける。

このような整理清潔好きが、軍隊の一糸乱れぬ行進や、他民族の混入を嫌つた第二次世界大戦中のような行動を引き起こす遠因になつた、という見方もあるが如何がなものであろうか。

また、ドイツ人は身だしなみ、服装、住まい、家具、調度品には気を使い、力を使つが、つまり、衣と住は重視するが、"食"に関してはかなり無頓着である。

家の中でも、整理・整頓

が良くなれば、日本の上

うこ挾ハ家の中ニ所蔵わざ

卷之三

物がこちやこちや溢れて

る、どうしような」とは無

卷之三

い 不要なものにはすぐに廃

ちかの形で処分するのであ

卷之三

第20章

ヨーロッパを一番多く見て歩いたのもこの時期で
あつた。

小生が日本語を教えていたのはハンブルグでは一番
大きいヌード劇場の支配人
プライベートで空手を教えていたのが、その劇場の
オーナーの娘であつた。

従つて(?)その劇場には
所謂「顔バス」で入れ、支
配人からも劇場の出し物が
変わったびに招待があつた

然しながら日
ベれるのと教え
よつとした差が
苦労したときも
の以前の先生は
であつたが、説
ちゆう変わつた
なくし、小生に
チされたとのこ
ドイツ語、英
ス語、スペイン語
語など、数ヶ国
語なるヨーロッパ人
同じラテン系の
簡単なのだろう
人は考えるが、
に言わせると、

本語がしゃべられるのではち
日本人女性
明がしょっぱ
トントタツ
とである。
と我々日本
その人たち
言葉だから
ラテン系の

日本にいる方は恐らく想像できないと思われるが、外国人の文字は書き方に癖があり、読めるようになるまで、それなりの時間がかかる。手書きの英語の手紙が読めないと同じことである。二年位でドイツ語古典専門書を一ページ七分間程で読めるところまで行つたが、結局、卒業するまでには八一一〇年掛かること、卒業できるのは一〇〇人に一人くらいであること、また当時、右手首骨折で二ヶ月間ギブスをはめており、授業についていけなかつた

国民性とは一口で？などと聞かれても勉強不足のせいもあり答えられないし、また答えられる性質のものでも無い。年配の日本人に向かつて、一口で日本とは、日本人とは、と聞いてみても中々答えが返って来ないと同じである。

行つても、家の周りはきれいに片付けられ、花壇に花が植えられ、耕作地も収穫の前後を問わず、常に整然としている。近隣諸国、オランダ、ベルギー、フランスなどと比べてみると、この点は更に鮮明になる。他の国は先ず雑然としていた感覚を受ける。

第二次世界大戦中のような行動を引き起こす遠因になつた、という見方もあるが如何がなものであろうか。

また、ドイツ人は身だしなみ、服装、住まい、家具、調度品には気を使い、カネも使うが、つまり、衣と住は重視するが、「食」に関してはかなり無頓着である。朝は簡単にパンにチーズ、ジャムで済ませ、特に若い連中は、昼もパン、リンゴと一緒にコーヒーで軽く、夜もパン、ハム、チーズで間に合わせるなど、まともな食事をとることは、あまり無い

- 7 -

六戸さんという、皆から“赤鬼”とあだ名されていた怖い先輩に言われ、当時の、マルヨ池内百貨店部長の小島忍先輩を紹介された。

恐る恐る尋ねて行き、借

用をお願いしたところ、気持ちよく五千円也を貸して頂いた。七大戦終了後、夏バイトで過ごし五千円也を貯めた。小島先輩にお返しに上がつたところ、「俺もそんなに力不足が有る訳ではないが、君よりは有るから返してもらう必要はないよ」と言われ、受け取って貰えなかつた。ほんとにいいのかなと思いついた尺八その力不足で、以前から欲しい欲しいと思つていた尺八を、きつかりの五千円也で買つてしまつた。それが現在まで続いている小生の、下手の横好きの尺八の始まりである。

大金であつた。特に北海道の学生にとつては、空手といえばはつきり言つて、ブコツな荒くれ共のやるケンカに似たようなもの、というイメージがあるが、小生の場合は、稽古は厳しいが、終了後全員正座の中で吹く尺八によつて多少荒々しさが和らげられているようである。尺八の音に、何かしら、日本の文化に触れたと感じるヨーロッパのカラテマンもおるようで、終了後わざわざ礼に来る者も結構いる。

小島先輩のお陰で小生は右手に空手着を、左手にトレードマークの尺八を携え、今日もヨーロッパで空手の指導に明け暮れている。小島先輩に感謝、多々の毎日である。

中のキリスト教国、産業らしきものも殆ど無いが、その代わりと言つては何であるが、人々はスター・リンの出身地であることを非常に誇りにしている。

一度空手の指導に招待されて行つたことがあるが、酒席での習慣が非常に興味深かつた。空手関係者だけの夕食会。食事も終わりに近づいたころ、やおら一人が立ち上がって乾杯の音頭をとり、全員が飲み干したあと、出席者の中の一人を褒め始めた。褒められた方は神妙にそれを聞いている言葉が解らないのでなにを言つているのか殆ど分からぬいが、褒めていることは雰囲気で理解できる。人が終わるとまた別の人間が立ち上がり、仲間の誰を褒める。

七人程同席していたが、全員が立ち上がって出席者の誰かを褒めていた。

褒められたほうが、褒めた人間をまた褒め返したのか、褒められ無かつた人間も居たのか、一人で何回も褒められた人間も居たのかいろいろ推測してみたが、強い酒を何杯も飲まされ大

分酔つていたので判断がこ
かなかつた。そして、理論
的には、偶数であればお互
いに褒めあうことも可能で
あるが、奇数であれば計算
が合わなくなる、などと一
人で余計な心配までしてい
た。

一人五分一一〇分位、そ
れもスピーチ中に何回か内
容に盛り上がりが有るらし
く、その度に乾杯となり、
一人のスピーチ中五回くら
い乾杯したときもあつた。
小生も分からなりなりに、
その度に一緒に乾杯をした。
グラスは小さいが焼酎のよ
うな強い酒を、一巡するま
でに二〇杯近くも飲まされ、
アルコールに弱い小生はダ
ウン寸前であつた。

次の夜、大学教授の誕生
パーティに招待された。レ
ストランの一室を借り切つ
た、奥さん連れの二〇名位
の会であつた。宴だけなわ
になつた頃、また誰かが誰
かを褒め始めたが、我々が
加わつたのが夜の九時ごろ
で、四人ほど褒め終わつた
札した。あれからまだ続き
一巡したのかどうかは分か
らない。確かなことは、三

○一四〇回位は乾杯したと、ご婦人方は恐らくスピーチしなかつたであろうという事だけである。

一般的の日本人は、この事からグルジアに対して、どのような国柄、国民性（の一端）を思い浮かべるであろうか？

皆が皆を褒めあう桃源郷のような理想の国、それとも、……？？？

濟の余裕があれば実現しそうな、下らないと言えば下らない望みではあるが、本人にとっては日本人としての精神性に関わる、本質的な問題である。

次は、これからも趣味を掘り下げ、深めていくこと。

日本武道は六〇—七〇歳位の年齢が最も上達する時期なのだそうである。これは、多くのその道の名人・達人が言っていることである。他のことは良くな分からぬが、「道」の付くものは大体その様である。音楽、絵画などの芸術も、本を読んだ限りではその様に思われ、また、学術・研究の分野でもある程度當てはまるのではないかと考えている。

ただし、これは三〇代、四〇代で一定のハードルを越えた人間だけではないのか、という気もしている。

この時期にあるレベルまで達していないとそれ以降の飛躍は難しいのかも知れない。

そうなると、小生などは大事な時期余り熱心ではなかつたので、これからのことになると誠に心もとなく、どうしようもなく心細くな

るのであるが。然しながら、誰かの言葉であるが、とに角やるだけやるしか無いと思つてゐる。

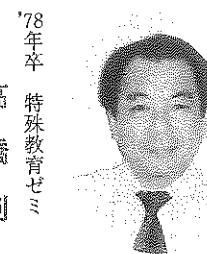
また、ハンブルグ大学時代、自分でも割合勉強した方だと思うが、それ以降では目も当たられない状態であるので、もう一度勉強し直そとも思つてゐる。

「人生、食つて、寝て、シテ、ハイお終い！」と達観している人間がいる。誠に羨ましい生き方である。小生など煩惱が多く、色々なことに判断つかず、とてもマネは出来ない。

然しながら、多くを望まず、余り他人に迷惑をかけず、怪我や病気などせぬよう気をつけながら、これからドイツ生活を続けていくたいと思つてゐる。

最後になりますが、皆様、特に小生と同年代、それ以上の方たちは、健康には十分に留意してお過ごしください。またドイツへお越しの際は是非ご連絡ください。

サッポロビールと同じくらいい美味しいドイツビールで乾杯したいと思います。



78年卒 特殊教育ゼミ
高橋 則克

「少子高齢化」について雑感

「高齢化」とは、ある集団の人口構成において六五歳以上の人たちの占める割合が増加することである。WHOの定義によれば、これが二%を超えると「高齢化社会」というと記憶している。このように「高齢化」とは人口構造に関する言葉である。これに対し、「少子化」とは、子どもの出生力が低下すること、具体的には、一人の女性が一生の間に産む子どもの数（理論値）を表す「合計特殊出生率」が低下することである。この平成一四年の数値が、全国では一・三二、本道の場合の一・二二となつてゐる。ちなみに、ある集団の人口規模を維持するためには、合計特殊出生率は二・〇八を維持する必要がある。

「少子高齢化」とは、この「少子化」と「高齢化」とが密接な関係にあることから組合されて使われるようになつた造語である。

「少子化」と「高齢化」は原因と結果の関係にある。

「少子化」が進み子どもが

が言われたのとほぼ同じ頃から「少子高齢化」ということも言われ出したと思う。「長寿化」ということが重要な要因としてある。だから、「少子化」+「長寿化」↓「高齢化」、「少子長寿高齢化」というのが正しい。

我が国（あるいは人類）が成し遂げつつある最も素晴らしい成果のひとつである。このことには異論はないと思う。しかし、「少子化」については事情が違う。肯定的評価、否定的評価、あるいはその両面、その濃淡も含め、評価が定まっていない。「少子化対策」ということについても、こういった事情を反映して「少子化を前提に、そうした状況にふさわしい社会への移行を図るべき」といった意見や「子どもを増やす対策を積極的に講じるべき」といった考え方など、その幅が広く、人生や社会のあり方についての価値観とも関わつて、複雑である。少子化の中で、否が応でも少子化対策を進めなければならぬになつた造語である。

（平成二）年前後から、「少子化」が言われるようになり、一九九六（平成八）年に子育て支援を進めるための計画として「エンゼルプラン」が策定された。そして、「少子化」ということ

になると、すつきりとしていない。

高齢化とは結果としての人口構造を意味する言葉である

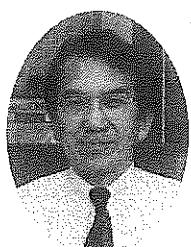
から、それへの対策とは、原因への働きかけとして整

理するなら、「長寿化対策」とか「少子化対策」とか言

うではない。長寿化に伴い介護という問題が多くの人にとって避けられないことになつた。だから介護保険制度ができたのである。これは普通「高齢化対策」に含めて整理されている。（蛇足であるが、「高齢化対策」という言葉が「少子化対策」や「長寿化対策」という言葉と同列におかれることは、厳密に言えばおかしい。高

くどくどと書いてしまつた。問題の難しさがそうさせたという言い訳はさておき、我々は「少子高齢化」にどのように対応すべきか、社会のあり方としても、個人の生き方にとつても、最も重要な問題になつていてことだけは間違いないと思ふのである。（道職員）

新任教官の「挨拶



教授 河口 明人

があります。その水郷の街は、白秋によつてつとに有名になり、私の搖籃の産土は観光の街として誤解されてきたように思います。父は事業に失敗して上京し、私は中学二年生のとき東京の真直中に放り投げられました。友人と繋がりは

筋のはづれた舟のように消え、幼なじみのいない都会で新たな友人を作らなければなりませんでした。高校時代には読書に明け暮れ、毎週土曜日の放課後には神

第 20 号

古本屋街をうろつきながら遙かな将来に向かって自立しよようと喘いでいました。は、一期校に北大を、二期校に鹿児島大を志望するという極端なものでした。が、青函連絡船を乗り継いで辿り着いた北海道の雪に煙る荒涼とした冬の風景は、孤高な青年に相応しいものでした。自らのアイデンティティ、換言すれば世界認識の原点を確立しようともがいた高校時代から数年後、私はこのキャンパスで、同人誌に奔走する西洋哲学専攻の文学青年になつてきました。しかし、学んだ哲学は時代と乖離していました。現代世界の科学的根拠は、いかなる哲学者の体系よりも確実に思われたのです。一方で、社会的経験の途上に文学の可能性を考えていた私は、渴きを癒すよう様々な仕事を渡り歩き、四年生のときはタクシーの運転手となつて札幌の街を徘徊していました。

した。患者の日常生活を共に悩みうる人間的な医学と思われた循環器内科科学を専攻しましたが、動脈硬化の研究は、発症がすでに遅れた診断であり治療であるとの乗り越えがたい壁を常に意識させてきました。初期研修二年を除き、国立循環器病センターで臨床と研究を行ってきた私にとって、「循環器病の制圧」というセンターラーのスローガンは空しいものでした。循環器病制圧の本質は予防にあり、それは発症以前の日常生活に潜在する病根との闘いを意味しています。換言すれば、医師が病院で患者を待つ限り、生活習慣病を将来に亘って克服することはできなくでしょう。いかにして private な日常に介入していくか、この選択肢の一つが、今日の日本を創り、誰もが否応なく巻き込まれる「教育」である、と考えるようになつていきました。

以上は、自己紹介を兼ねた心の脈絡と足跡の素描です。科学的思考力も芸術的感性も、目の前の課題を解決してきた人類には不可欠でした。そのことを学生にどのように伝え、どのように

(健康スポーツ講座)



丸山美貴子

丸山 美貴子
北海道大学大学院教育研究科
教育計画講座助手

二〇〇三年四月から助手として赴任しました。丸山美貴子と申します。富山県出身、北海道に来てから一〇年以上が経ちます。専門は、社会教育論、協同組合論です。

私はこれまで、労働者協同組合(ワーカーズコープ)という事業体を対象に研究してきました。労働者協同組合とは、労働者が出資を行って事業体の所有者となると同時に就業し、かつ経営管理も担うという、新しい試みの協同組合です。雇

私がこの研究テーマを選んだ理由ですが、社会教育は学校教育と違い、主に地域に暮らす成人を教育・学習活動の対象としています。その地域住民に真に貢献し、うる社会教育活動とするためには、地域の切実な諸問題の中でも、とくに地域生活の基盤である産業と労働の問題を基礎とする必要があると思うからです。教育とは、日常的な社会活動によつて形づくられている人間の意識や行動に対し、あくまで目的意識をもつて働きかけることで人間的な成長を促す営みだと思います。その人間の日常的な意識と行動は、その人の職業生活とそれを規定する地域経済構造や産業・労働のあり方に最も影響されて形づくられていよいります。例えば農民の営農意識と営農方針の選択が、その地域固有の農業構造と具体的な農業経

ことが、社会教育研究題になると思います。
今後は、北海道にあ
学の社会教育研究室と
農村地域社会の生産・
問題に視野を広げてい
いと思っています。そ
働く人々が、その地域
間的な暮らしに見合つ
統的な産業をつくりあ
地域経済全体を民主的
展させていくなかで、
担い手へとして人間的
長していく過程、およ
こにおいて求められ
育・学習活動と社会教
政の役割について解明
いきたいと思います。

教育臨床講座助手



うに。さまざまな地域で社会教育を行っている、北海道のさまざまな自治体職員の方々の支えている、社会教育に関する養成や研修に対しても、大学として積極的に役割を果たせるよう、諸先輩方からご指導を仰ぎながら努力していくべきだと思います。

——☆——☆——

同窓生の一言

'00卒 教育方法
西 共 直也

学部卒業から数年が経ちましたが、今回初めて「同窓会たより」を配達していただき、大変うれしく思いました。懐かしい先生の言葉でした。同期の人の活躍ものついて感慨深いものがありました。本当にありがとうございました。(振込用紙記載のもの)

期日	会務事項
H13.10月	H13年同窓会たより掲載の広告に関する事務。 多米小児科、鈴木眼科、箕島工務店、浜田一康会員(25期昭和52年卒)
H14.3月	教育学部卒業式に参加(会長、幹事長)
3月	北大PR誌 リテラ・ポプリ発送36件
5月	北大PR誌 リテラ・ポプリ発送41件
5月	幹事会開催事務(北大遠友学舎)
6月	幹事会 14人参加
8月	北大PR誌 リテラ・ポプリ発送41件、幹事会議事録
8月	同窓会たより編集事務
9月 10月	同窓会たより発送事務 1,691通 戻140通(8%)
10月	同窓会総会開催事務 返信ハガキ到着160通

平成一四年一〇月一二日		平成一五年六月六日		平成一四年一〇月一二日	
会長	多米 豊	会長	多米 豊	会長	多米 豊
副会長	横内 哲也	副会長	吉田 敏雄	副会長	伊藤 敏彦
一、会務報告	(平成一三年一〇月一平成一四年一〇月)	二、会計報告	(平成一三年一〇月一平成一四年一〇月)	三、会計報告	(平成一三年一〇月一平成一四年一〇月)
て発表、承認を戴いた同窓会会計報告と、本年平成一五年六月六日同窓会幹事会において発表承認を受けた中間報告を纏めたものです。	月一七日昨年度総会において発表、承認を戴いた同窓会会計報告と、本年平成一五年六月六日同窓会幹事会において発表承認を受けた中間報告を纏めたものです。	月一七日昨年度総会において発表、承認を戴いた同窓会会計報告と、本年平成一五年六月六日同窓会幹事会において発表承認を受けた中間報告を纏めたものです。			

収入の部		支出の部	
前期繰越H13. 10. 18	93,813	総合時支払	178,465
総時会費収入(37人)	243,000	通信費	179,025
借入金	89,038	雑費	32,116
会費収入	前期 292,180	慶弔費	11,298
	今期 222,380	返済	388,344
広告料収入	60,000	小計	789,248
寄付金	10,000	繰越金	221,163
合 計	1,010,411	合 計	1,010,411

(備考)

上記繰越金に対し下記の未払金があり実質 赤字 258,451円 である。

(平成一三年一〇月一平成一四年一〇月)

未払金の内訳

花貝印刷所 新聞印刷	374,700
広済堂 宛名ラベル代	15,876
事務局立替分	89,038
合 計	479,614

繰越金の内訳

郵便振替残	220,583
預金(東京三菱)	497
預金(北洋)	83
合 計	221,163

平成15年10月1日

三、会計監査報告

二〇〇二年度決算について監査の結果、いずれも適正に処理されている事を確認致しましたので報告いたします。

二〇〇一(一〇月一七日)

第29回北大全学同窓ゴルフ会開催される

72年卒 児童発達 吉田敏博

会計幹事

山貫義彦

(三回生)
奥田利恒
(四回生)

四、会計財務報告
(自平成一四年一〇月一三日～平成一五年五月二三日)

収入の部		支出の部	
前期繰越(H14.10.12)	221,163	総会時支払	162,000
総会時収入	234,000	同窓会たより製作費	375,015
借入	0	通信費	55,411
会費収入	280,240	雑費	15,630
		慶弔費	7,633
		返済	83,607
		小計	699,296
		繰越金	36,107
合計	735,403	合計	735,403

(備考) 微少ながら上記のとおり黒字となりました。

参加者

卒年	氏名	成績	卒年	氏名	成績
S29	多米豊		S38	山田有毅	
S29	伊藤巖		S38	高橋洋介	SB 4位
S30	平野信吉	G S 10位	S42	葛岡誠一	
S30	常本勇		S46	山本哲二	
S31	吉田敏雄		S47	吉田敏博	
S31	小島忍	G S 準優勝	S49	堀川素人	JD 5位
S31	今井康利	G S 3位	S49	高山幸一	JD 13位
S34	大野雅弘		S50	奥野彰	
S34	越田高弘	SA 3位	S54	藏満保幸	
S36	田尾直之	SA 9位	S63	大塚功喜	J C 9位

備考 GS: グランドシニア SA: シニアA SB: シニアB

J C: ジュニアC組 JD: ジュニアD組

今年で開場三一年を迎え
た札幌エルムカントリーク
ラブで、首記大会が八月一
七午後に三六ホール貸切
で開催されました。
我が教育学部からは二三
名が参加し、グランドシニ
アの部で昭和三一年卒の小
島氏が準優勝、シニアBの
部で昭和三八年卒の高橋氏
がベストグロス賞と四位を
獲得し大活躍したのを始め、
九名の方が入賞しました。
来年は八月三二日の開催
が予定されておりますので、
ゴルフをなさる方は是非ご
参加ください。(満七〇歳
以上のグランドシニアの部、
シニアはハンディでA組、
B組、ジュニアもハンディ

(連絡先 小島忍
三八六一五三四七)

札幌エルムカントリーク
ラブは、北大構内で威容を
誇る檜の木にちなんで名前
をつけたゴルフ場です。今
シーザンは一月二十四
日まで営業予定です。ブ

レーをご希望の方は、遠慮
なく吉田支配人(昭和四七
年卒)までお電話を。
(一九九九年五月一五)

